

平成25年度 市長と語る会



平成25年10月16日から12月5日にかけて「市長と語る会」を各町で開催し、昨年度を上回る398人の市民の方に参加していただきました。

3年目となる今年度は、より多くの市民の皆さんの声をお聴きするため、ご意見を伺う時間を増やして行いました。

☒ 総合政策課（内線213）

【意見と回答】

■ 避難所について

意見 >> 指定避難所が町の中心から離れているため高齢者などの避難が困難である。町の中心にある施設を指定避難所にできないか？

市長 >> 食事や物資の提供などを行う指定避難所は、職員を集中配置させる必要があるため数多く指定することは困難です。災害時にはまずお近くの一時避難所に避難していただき、必要に応じて指定避難所へ移動してもらうことになります。避難所については、地域の意見を見直しに反映いたします。

■ 空き家対策について

意見 >> 空き家が増えてきており、倒壊や火災の危険があるものも見られるが、(条例の制定など) 対策を考えているか？

市長 >> 今年度、自治会にお願いして空き家の調査を行い、現状把握に努めています。行政が代執行による撤去などをできるように条例などを制定している自治体が増えてきていますが、危険度の判断基準は人により異なるため、実際に撤去を行うことは難しいと考えます。条例の制定については、他の自治体の事例などを踏まえて判断していきたいと考えています。

■ 新土岐津線の整備について

意見 >> 駅前の再開発などと併せて計画・構想を進めていくべきではないのか？

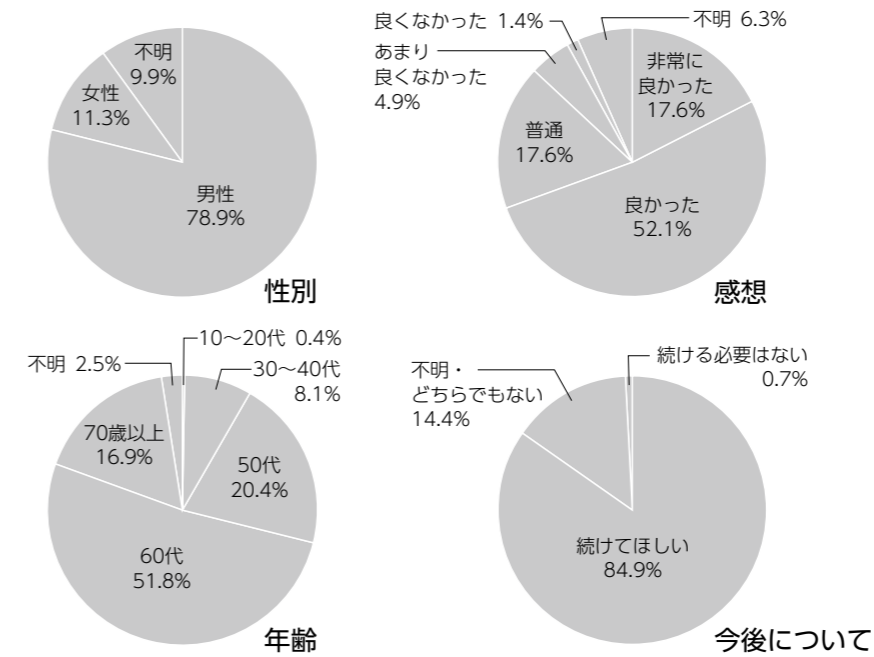
市長 >> 道路整備には、区画整理や再開発などによる面的整備と、道路のみ整備する線的整備があります。駅前の再開発事業による面的な整備を検討しましたが、線的に整備していくことになりました。線的な整備の中でも土地の集約化を図るなど、有効活用できるように取り組んでいきます。



※市長と語る会の説明資料、議事録やアンケート結果の詳細は、
【市ホームページ > 市政情報 > 市長と語る会】からご覧になれます。

【アンケート結果（抜粋）】

※四捨五入をしているため、合計が100%にならないことがあります。



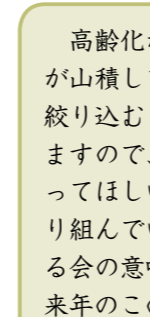
■ アンケートの結果から

約70%の方が「良かった」と回答しており、約85%の方が「今後も続けてほしい」と回答しています。参加者のうち、50歳以上の男性が多数を占めているため、今後は開催方法などを見直し、女性や若い世代の方の声を伺う機会を作りたいと考えています。

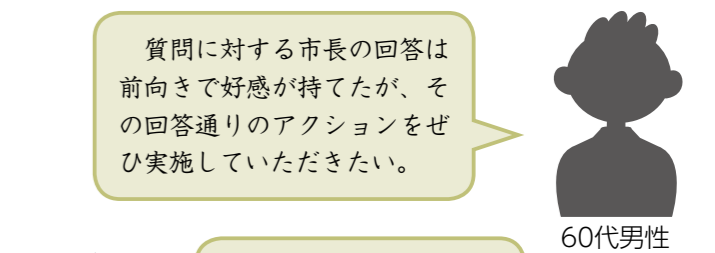
【参加者の声（アンケートより）】



行政と市民が一緒になってまちづくりを考えていく必要があるので、発言者の顔を見ながら車座でやるのもいいかも。



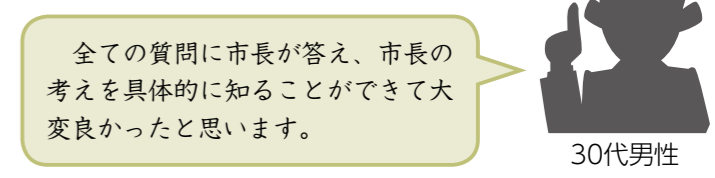
高齢化が進みいろいろな問題が山積しています。その問題を絞り込むと対策案が出ますので、一つずつ解決してほしいです。この問題に取り組んでいただければ、語る会の意味がないと思います。来年のこの日を期待しています。



質問に対する市長の回答は前向きで好感が持てたが、その回答通りのアクションをぜひ実施していただきたい。



参加者の年齢層が比較的高いと感じたので、10代、20代の参加者が増えればより良い会になると思った。



全ての質問に市長が答え、市長の考えを具体的に知ることができて大変良かったと思います。